

施設の概要

ごみ処理施設

1 はだのクリーンセンター

所在地 秦野市曾屋4624番地
敷地面積 35,989.34㎡ (登記地積)

はだのクリーンセンターは、秦野市及び伊勢原市から排出された可燃ごみ（燃やすごみ）を200t/日（100t/日炉×2基）の焼却施設で燃やして処理しています。焼却の際に発生した熱を回収して、施設内の給湯や最大3,820キロワットの発電に利用しています。発電した電力は、施設内すべての電気を賄い、余った電気は電力会社に売電しています。さらに、余熱エネルギーを有効活用し、隣接地にある秦野市の公共施設「名水はだの富士見の湯」へ温水の熱源として供給しています。

また、煙突から排出される排ガスについては、成分ごとに法令基準値よりも厳しい自主規制値を設け、その状況を正門横に設置した電光表示盤により、誰もがいつでも確認できるようにしています。

施設の運転や維持管理の業務は、包括的な委託により行っています。

施設整備状況

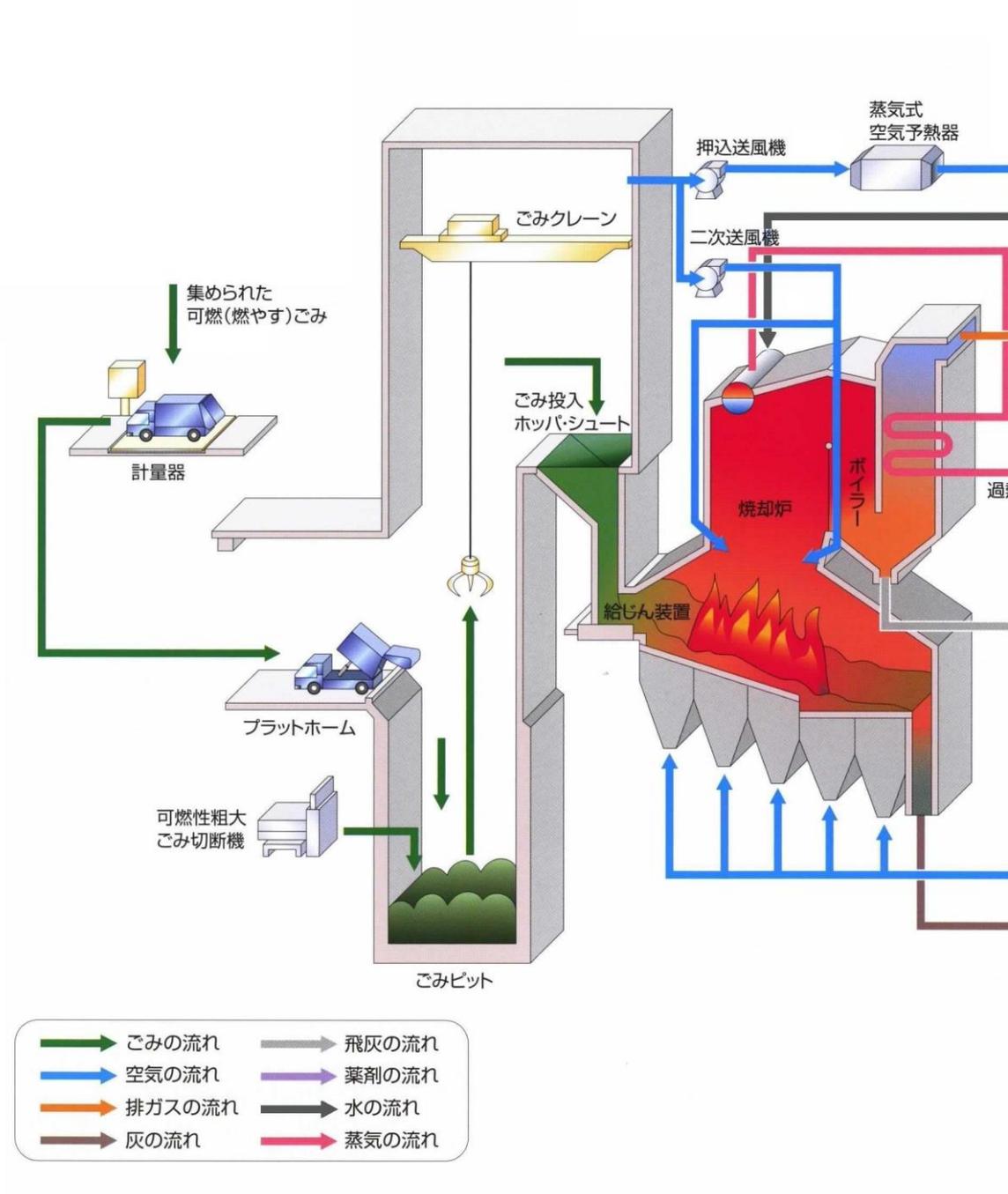
規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	設計・施工
200t/日	ストーカ式 (連続炉)	9,406,551	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 ・ 地上6階地下2階 ・ 延床面積 12,339.76m² ・ ごみピット容量 8,140m³ ・ 可燃性粗大ごみ切断機(2基) ・ 蒸気タービン発電設備 (発電出力 3,820kW) 	H22. 2. 26～ H25. 1. 30	日立造船(株)

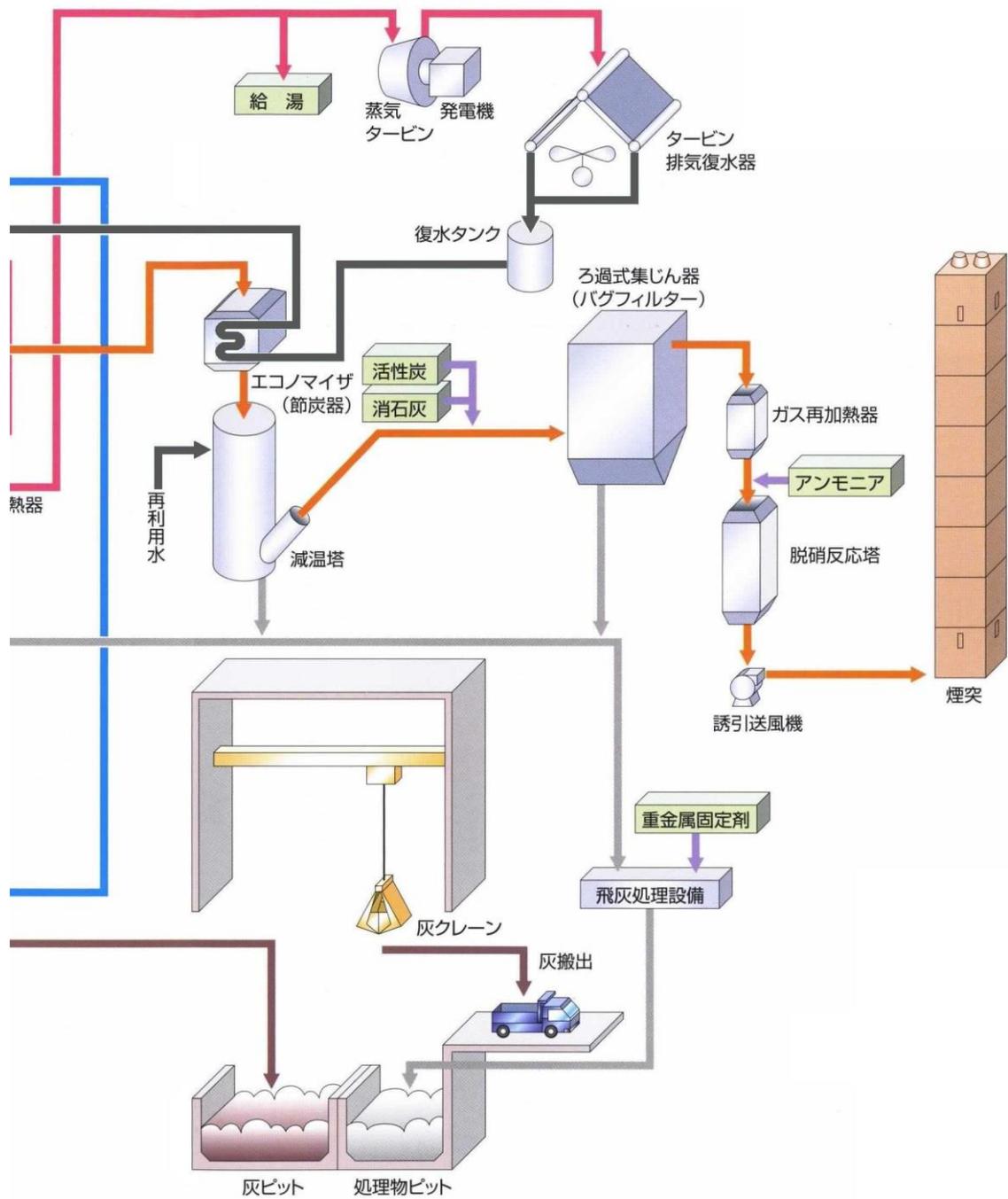
はだのクリーンセンター

電光表示盤

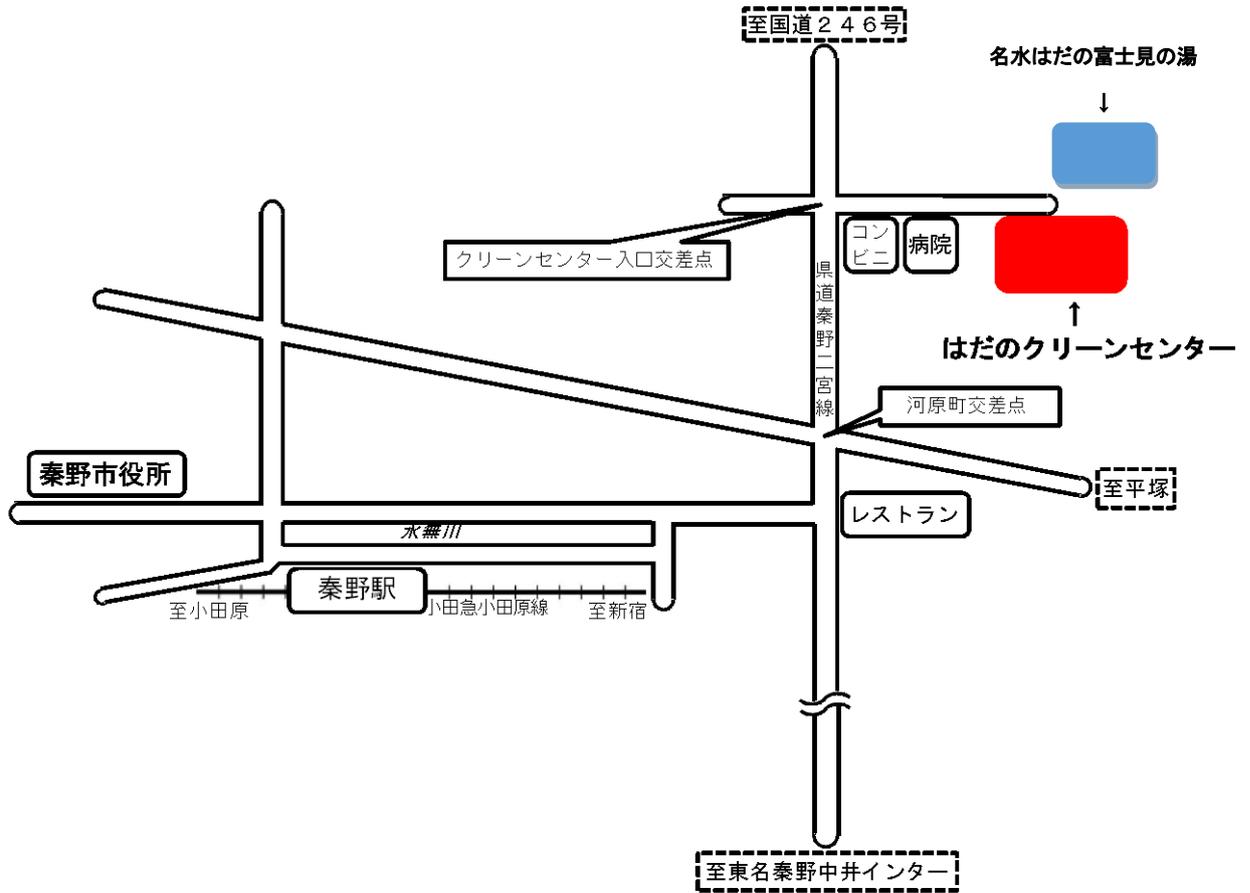


はだのクリーンセンターでのごみ処理フローシート





はだのクリーンセンター 位置図



はだのクリーンセンター 施設配置図



2 伊勢原清掃工場

所在地 伊勢原市三ノ宮1918番地

敷地面積 20,659.86㎡ (登記地積)

(1) 90t/日焼却施設

伊勢原清掃工場の90t/日焼却施設では、伊勢原市などから排出された可燃ごみ(燃やすごみ)を焼却処理しています。

平成12年度にはダイオキシン類の削減対策として、排ガス高度処理や灰固形化施設の整備を行い、電気集じん器を、より捕集性能の高いバグフィルター(ろ過式集じん器)に改造しました。

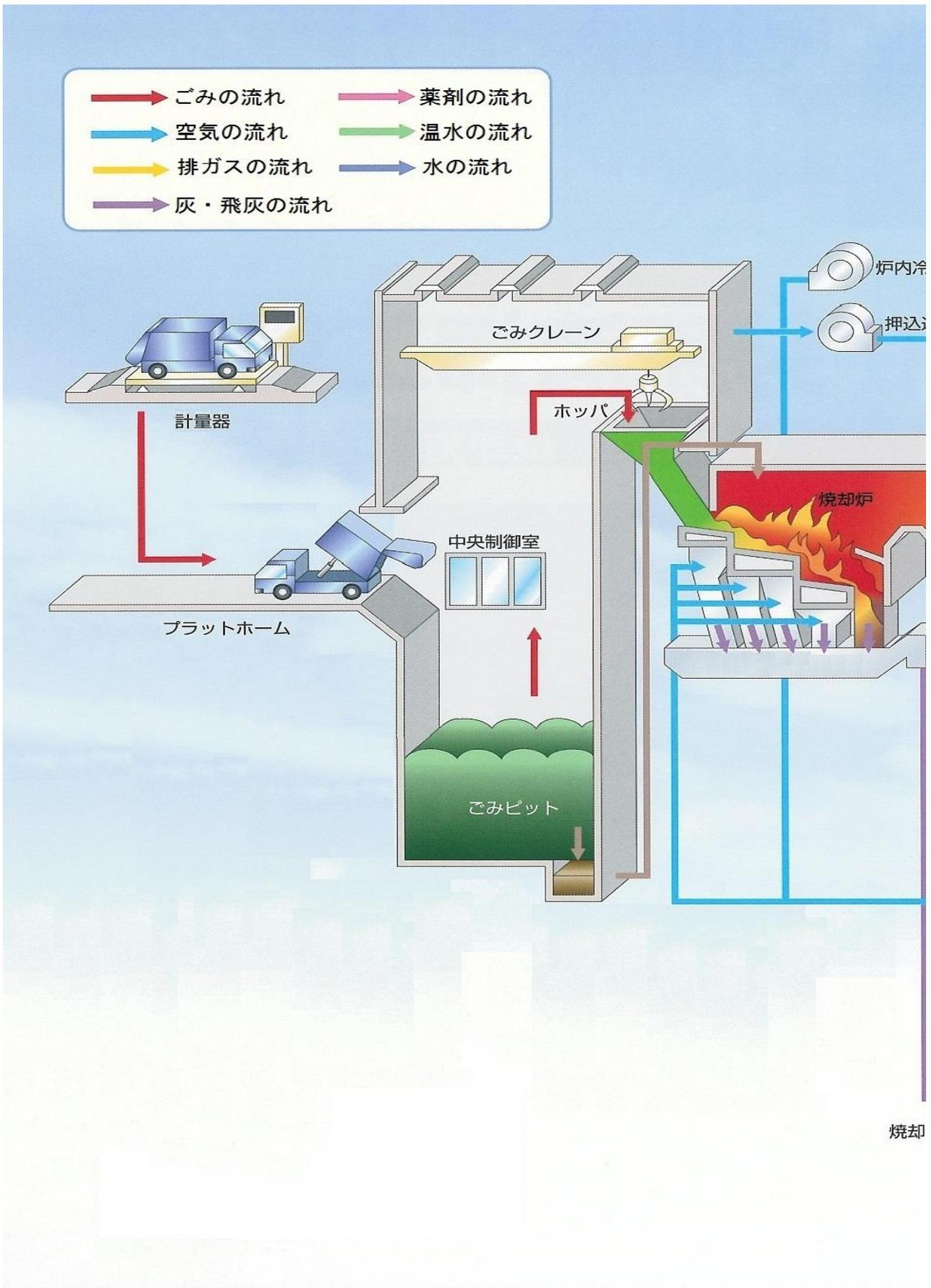
なお、施設の運転や維持管理の業務は、本組合の職員による直営で行っています。

施設整備状況

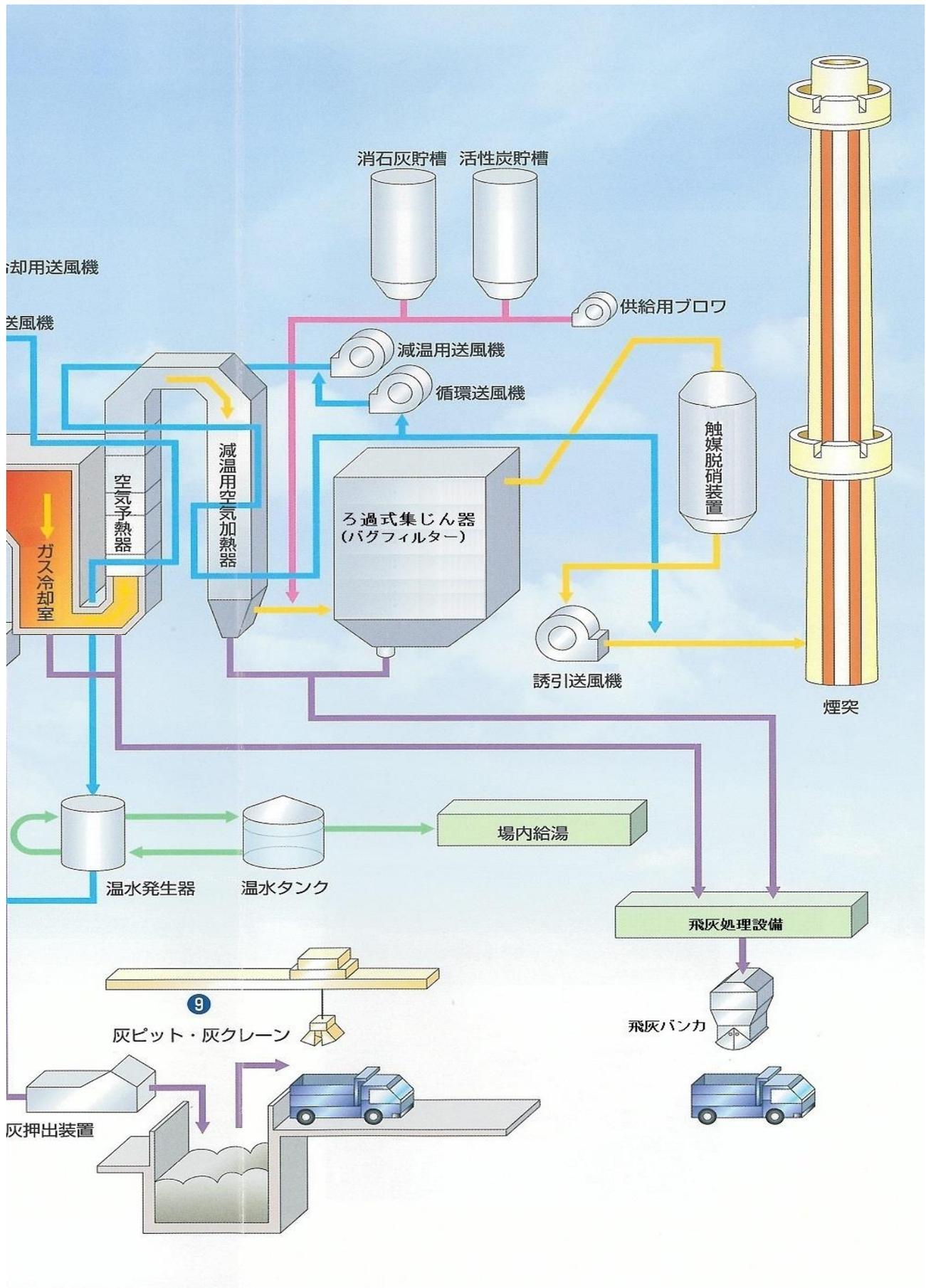
規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
90t/日	ストーカ式 (連続炉)	1,837,916	鉄筋コンクリート造 4階建 延2,614.57㎡ ごみピット 870㎡ 可燃性粗大ごみ破碎設備 (休止中)	S58.2.21) S60.10.31	日立造船株 (機械設備) 奥村・中村建 設共同企業体 (土木・建築)
		1,491,000	整備工事 排ガス高度処理及び灰固形化施設整備 (ダイオキシン類削減対策) 電気集じん器をバグフィルターに改造等	H12.5.30) H13.3.30	日立造船株

90t/日焼却施設





焼却



(2) 粗大ごみ処理施設

伊勢原清掃工場の粗大ごみ処理施設では、秦野市及び伊勢原市から排出された不燃ごみ（不燃物）や粗大ごみを選別し、破碎処理しています。

選別作業により生じた可燃性のものは、はだのクリーンセンターや伊勢原清掃工場で焼却処理していますが、不燃性のものは、手選別により非鉄類を取り除き、破碎処理などを行っています。その後、磁石選別機で鉄類と不燃物残渣に分け、鉄類は売却し、不燃物残渣はそのほとんどを資源化しています。また、水銀等の有害物質を含む乾電池や蛍光灯などは、一時保管を行った後、専門事業者へ資源化等を委託し、適正に処理しています。

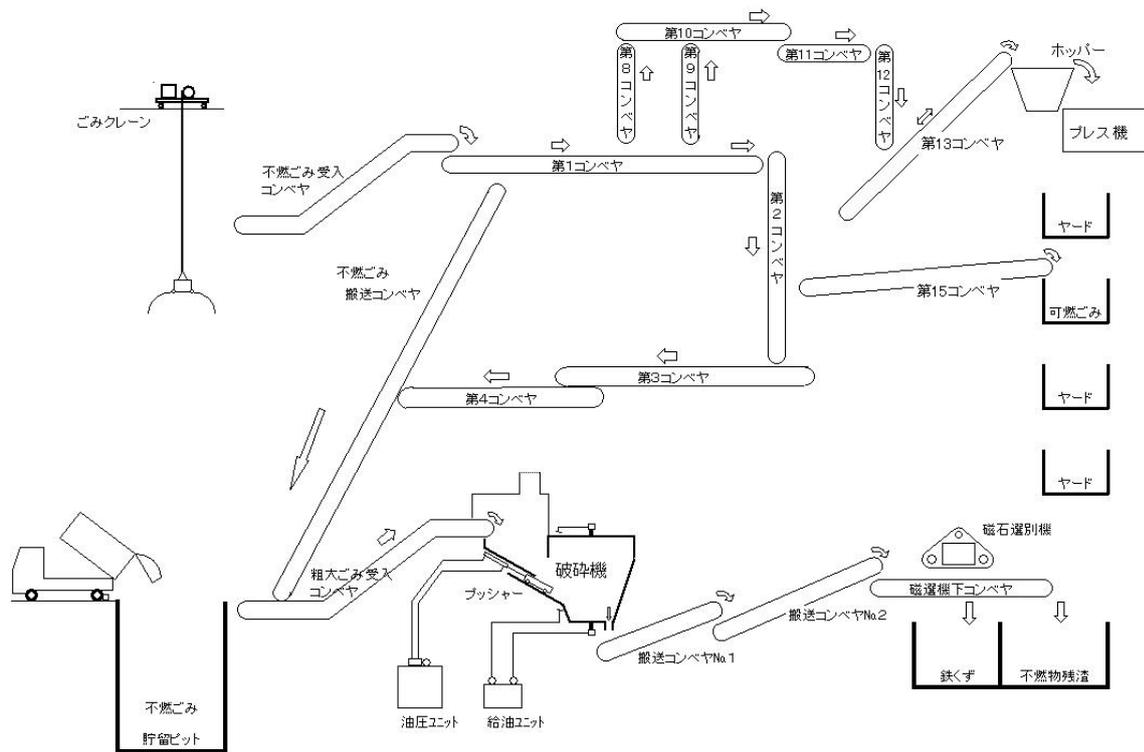
施設整備状況

能力	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
圧縮設備：12t/5h 併用設備：30t/5h コンベア選別設備 ：8-10t/5h	236,488	鉄骨造 延721.1㎡ (平成7年の増築工事含む) 主要設備 受入供給設備 破碎機 受入等コンベア設備 磁選機等機械設備	S62.6.26) S63.3.20	(株)ジーエス

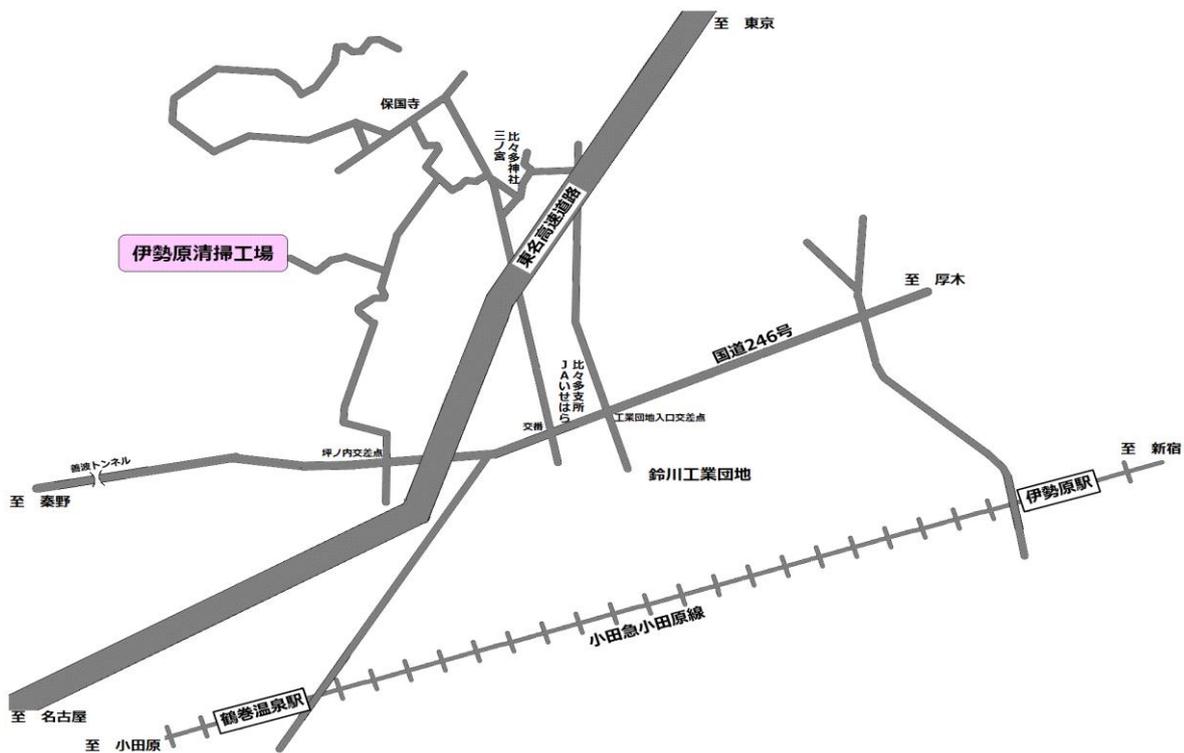
粗大ごみ処理施設



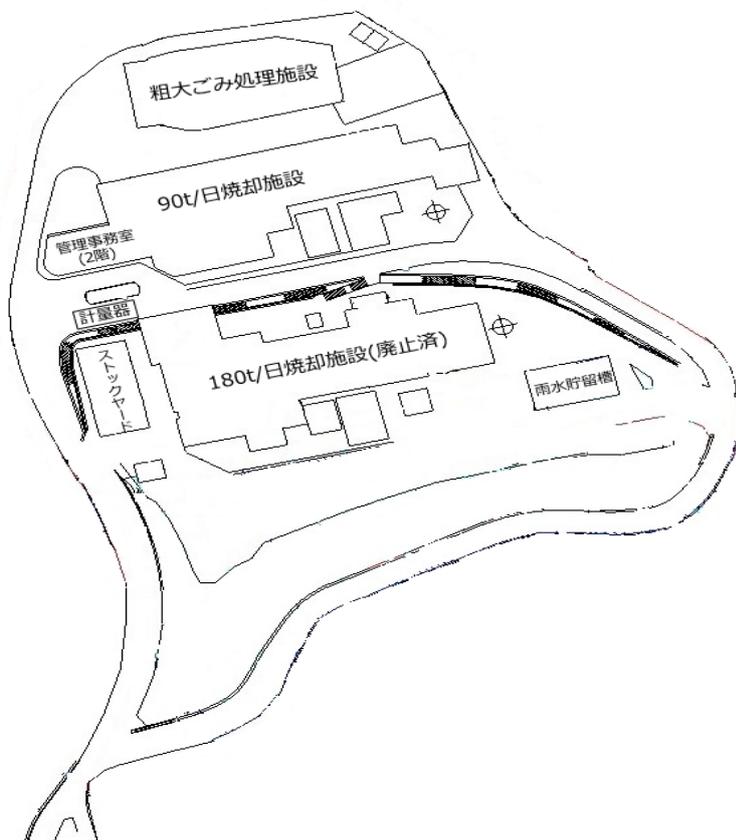
粗大ごみ処理施設の処理フローシート



伊勢原清掃工場 位置図



伊勢原清掃工場 施設配置図



3 栗原一般廃棄物最終処分場

所在地 伊勢原市三ノ宮2854番地
敷地面積 24,370.69㎡

栗原一般廃棄物最終処分場では、はだのクリーンセンター及び伊勢原清掃工場の90t/日焼却施設で生じた焼却灰を埋立処分しています。

平成5年度から埋立てを開始し、平成29年度末時点では全体計画量の約8割まで埋立てが進んでいます。令和5年度の埋立完了期限を見据え、引き続き、適正かつ計画的に施設の維持管理や埋立処分を行ってまいります。

施設整備状況

建設工事	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
第一期	644,297	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鋼矢板二重締切堰堤 排水管：浸出水配水管等 調整槽：屋内型400m ³ 水処理：凝集沈殿20m ³ /日	H4.1.22) H5.3.25	鹿島建設(株) 横浜支店
第二期	1,417,500	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鉄筋コンクリート箱型及び逆T字擁壁 排水管：浸出水配水管等 調整槽：屋内型1,400m ³ 水処理：凝集沈殿50m ³ /日	H9.8.25) H11.3.19	鹿島・中村・ 長島特定建 設工事共同 企業体

※ 用地は借地

埋立面積及び容量

	面積	容量
一期分	4,700 m ²	25,500 m ³
二期分	12,060 m ²	107,000 m ³
変更届出分	—	42,500 m ³
全体計画	16,760 m ²	175,000 m ³

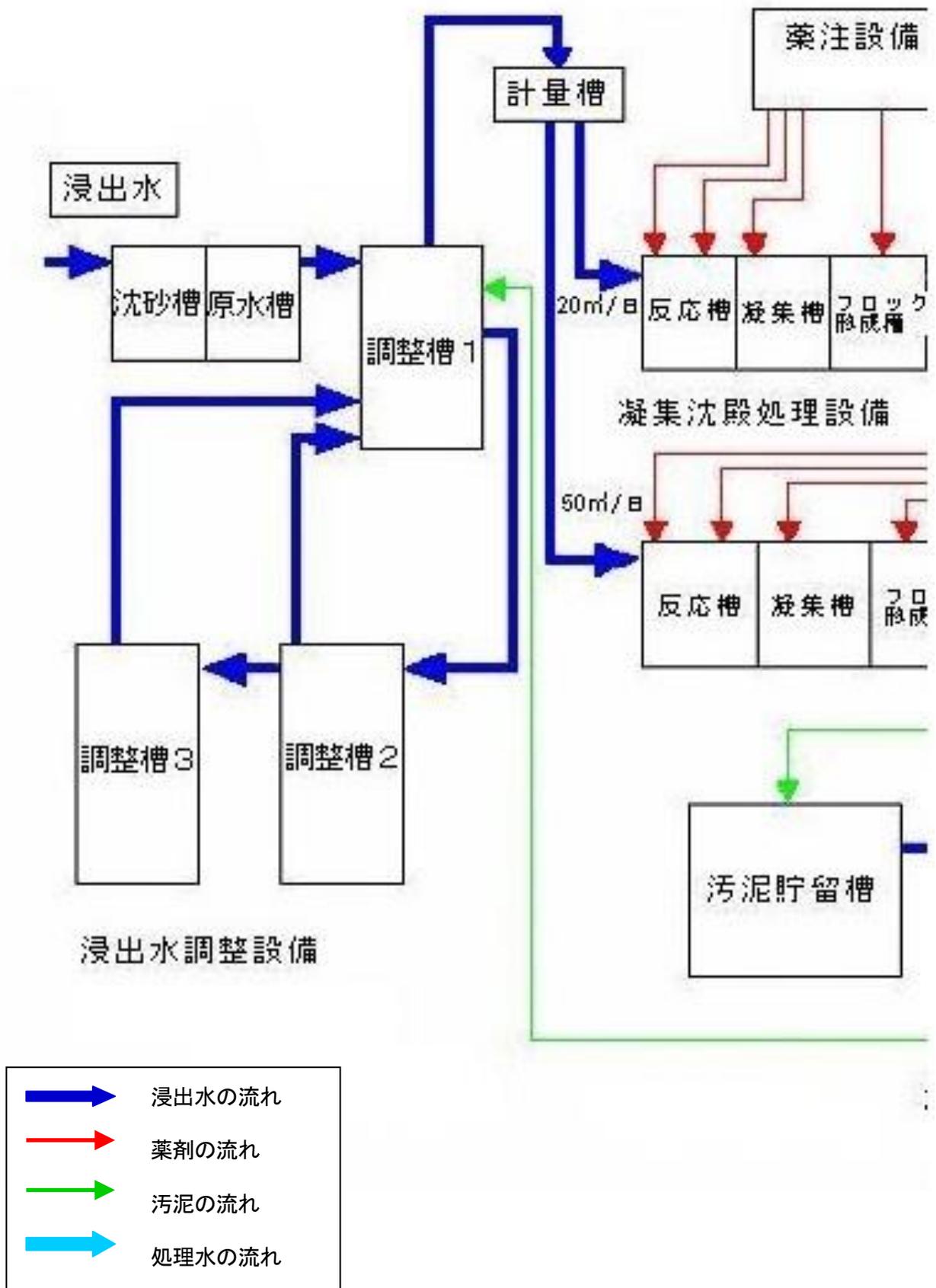
埋立開始年月 平成5年5月

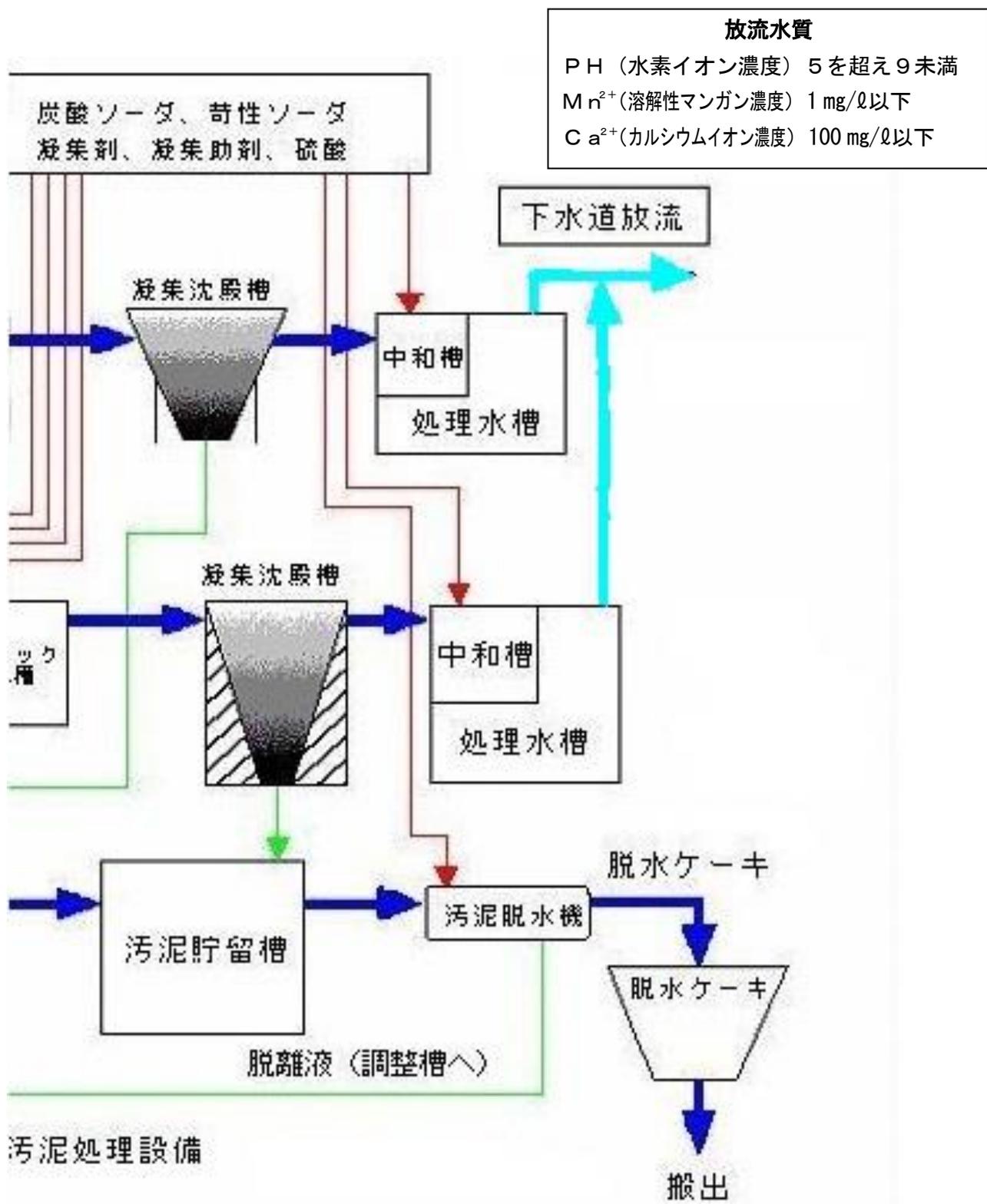
埋立構造・方式 準好気性埋立・セル方式

栗原一般廃棄物最終処分場

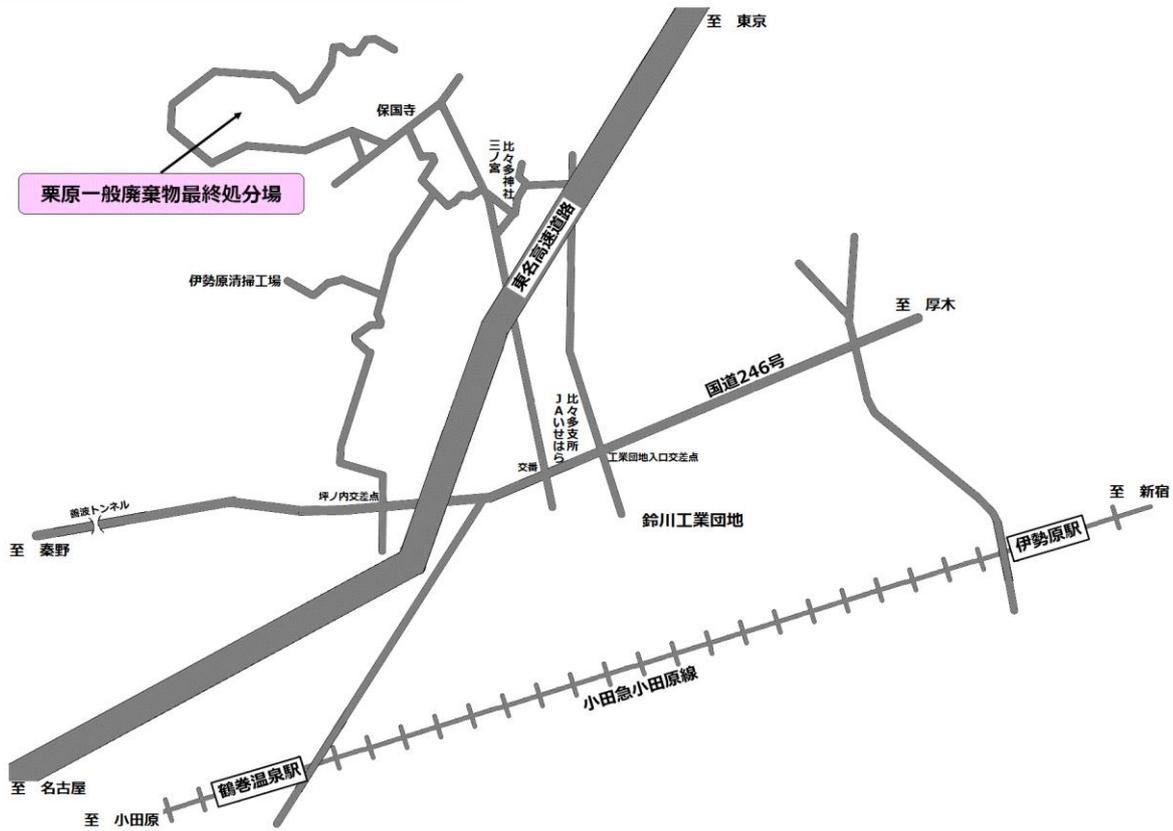


浸出水処理施設の処理フローシート





栗原一般廃棄物最終処分場 位置図



火 葬 施 設

秦野斎場

所在地 秦野市曾屋1006番地
敷地面積 5,741.22㎡ (登記地積)

秦野斎場は、秦野市及び伊勢原市の火葬業務を行うため、火葬炉7基(別に1基分の予備スペース有)、待合室8室を備え、1日当たり最大16件の火葬が可能な施設です。

また、排ガス処理や災害対策の強化を図ると共に、自然エネルギーを有効に活用した施設となっており、施設の運転や維持管理は、民間事業者へ業務委託しています。

施設整備状況

型 式	事業費 (千円)	整 備 内 容	建設年月日	施 工 者
火葬炉7炉 台車式大型炉 再燃焼炉 主燃焼炉直上型 1炉1再燃焼方式 集じん方式 乾式バグフィルター 4基	1,961,787	増築棟：鉄筋コンクリート造、 鉄骨造混構造2階建て (火葬炉7炉、待合室4室、 告別室4室、収骨室4室、 霊安室、事務室等) 改修棟：鉄筋コンクリート造 平屋建て、内外装を改修 (待合室4室、多目的室) 延べ面積；約3,395.20㎡ (うち増築棟約2,908.07㎡)	火葬炉設備 H28.10.11～ H30.3.22 その他工事 H28.10.11～ H31.3.15	株式会社宮本工業所 (火葬炉設備) コラム・秀和共同企業体 (建築工事) 大野設備工業・キタムラ共 同企業体 (機械設備) 東洋電装・フリーテム共同 企業体 (電気設備)

秦野斎場



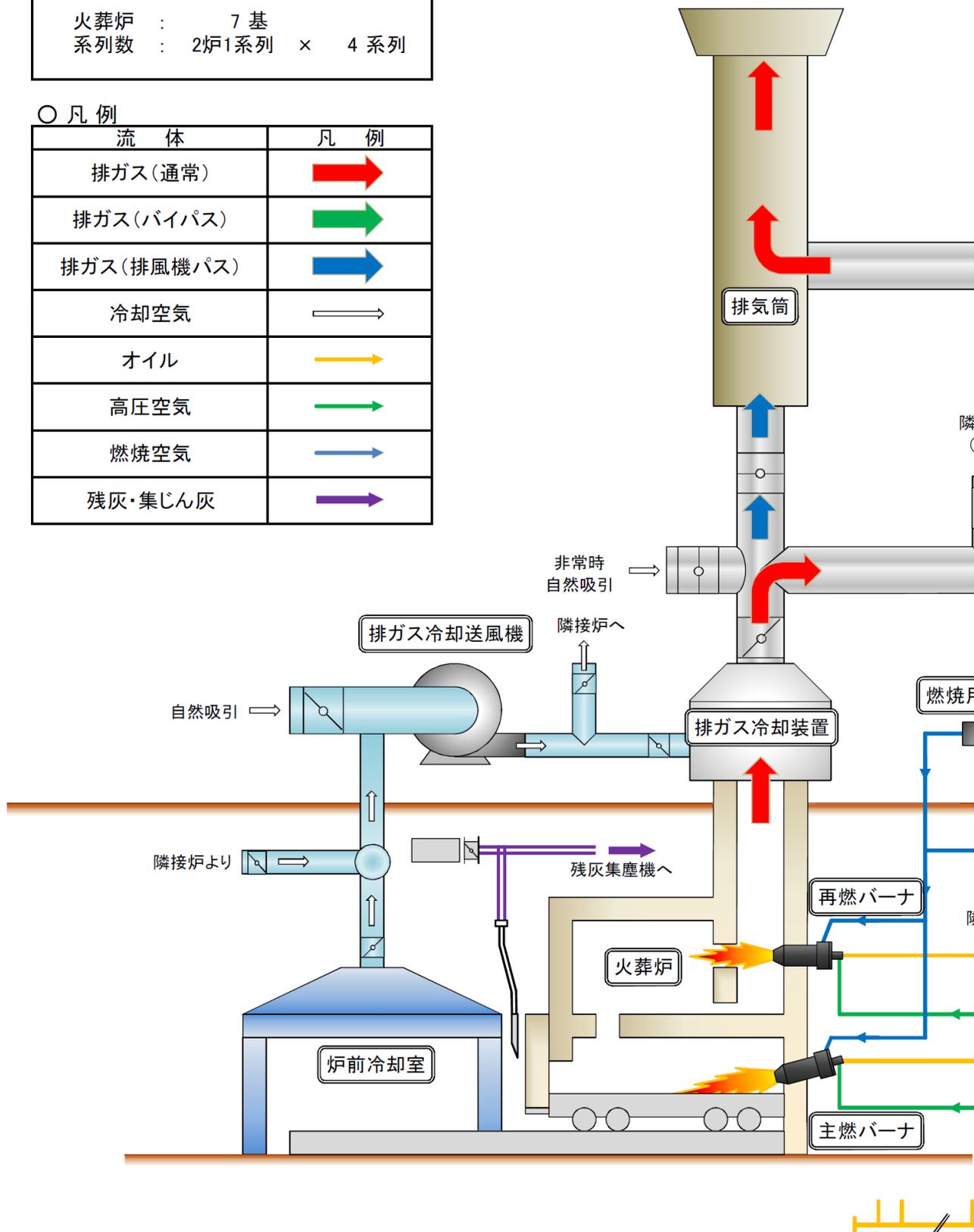
秦野斎場の火葬炉設備フローシート

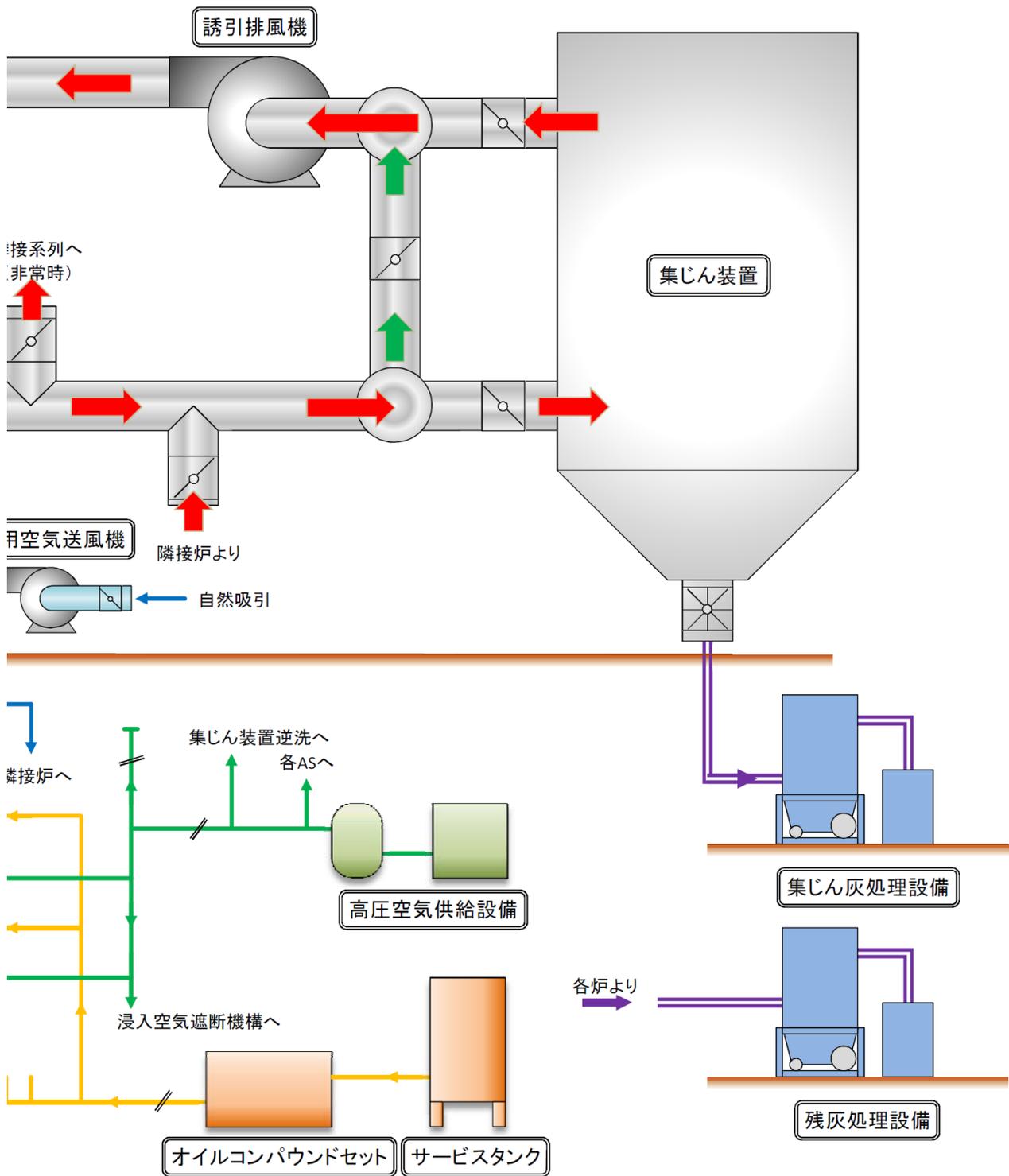
○ 基本事項

火葬炉	: 7基
系列数	: 2炉1系列 × 4系列

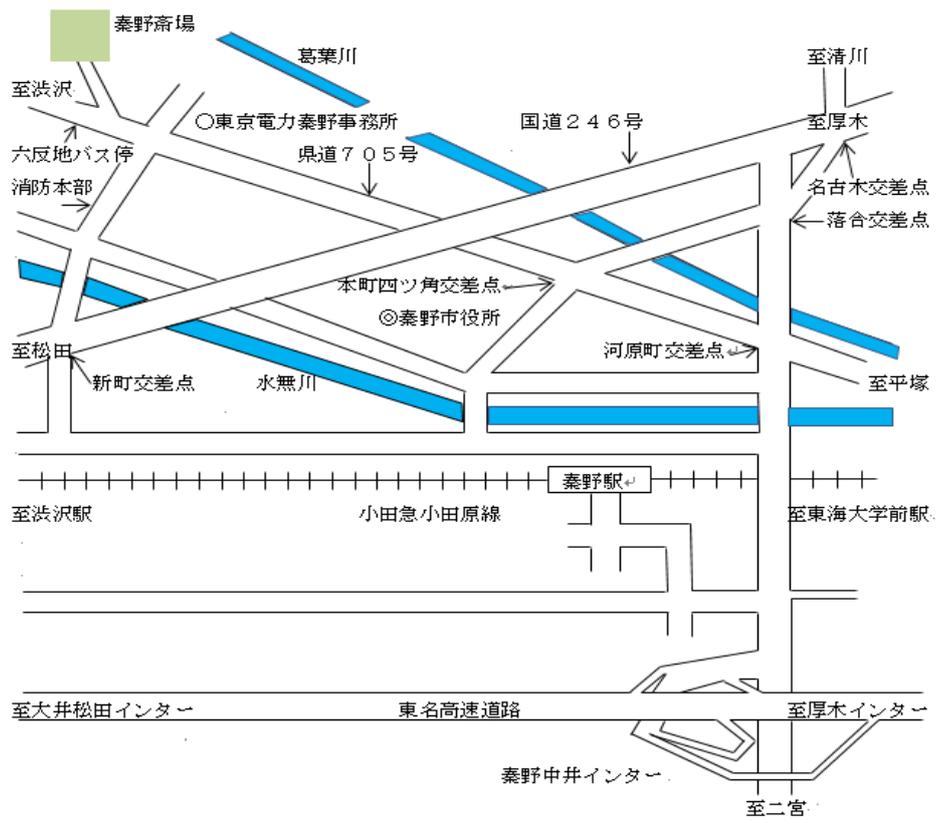
○ 凡例

流体	凡例
排ガス(通常)	
排ガス(バイパス)	
排ガス(排風機パス)	
冷却空気	
オイル	
高圧空気	
燃焼空気	
残灰・集じん灰	

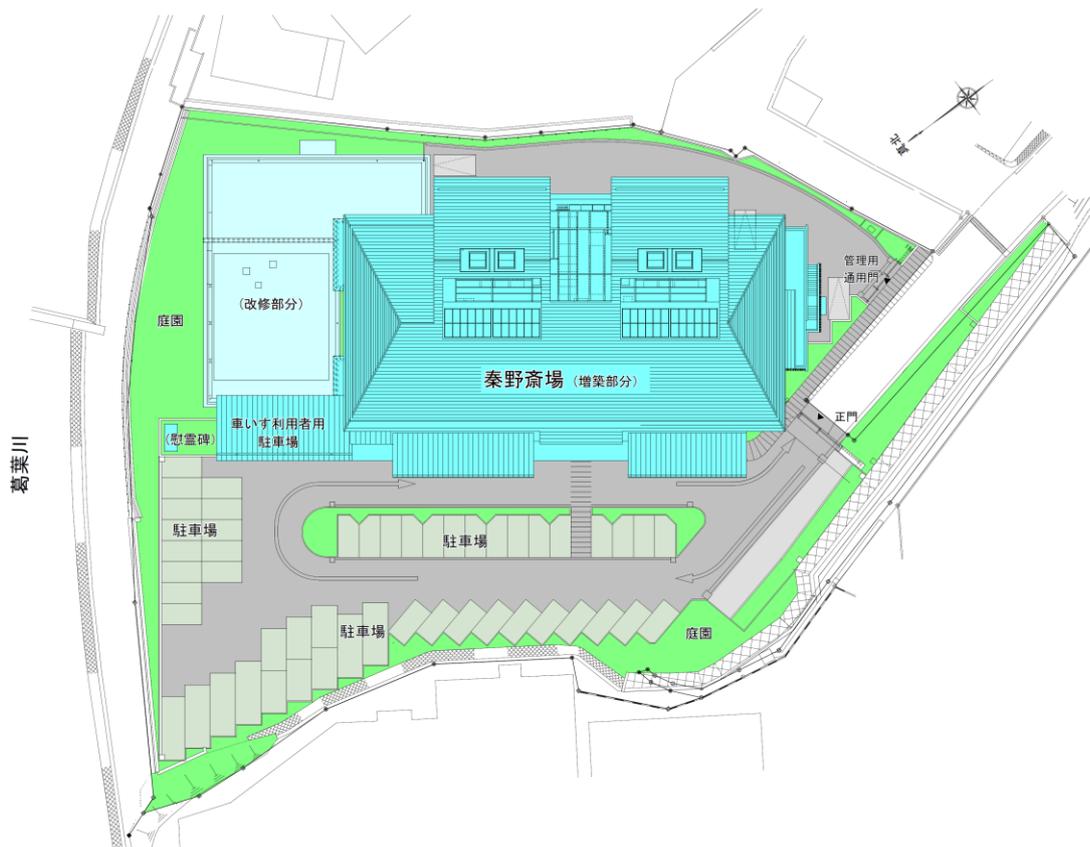




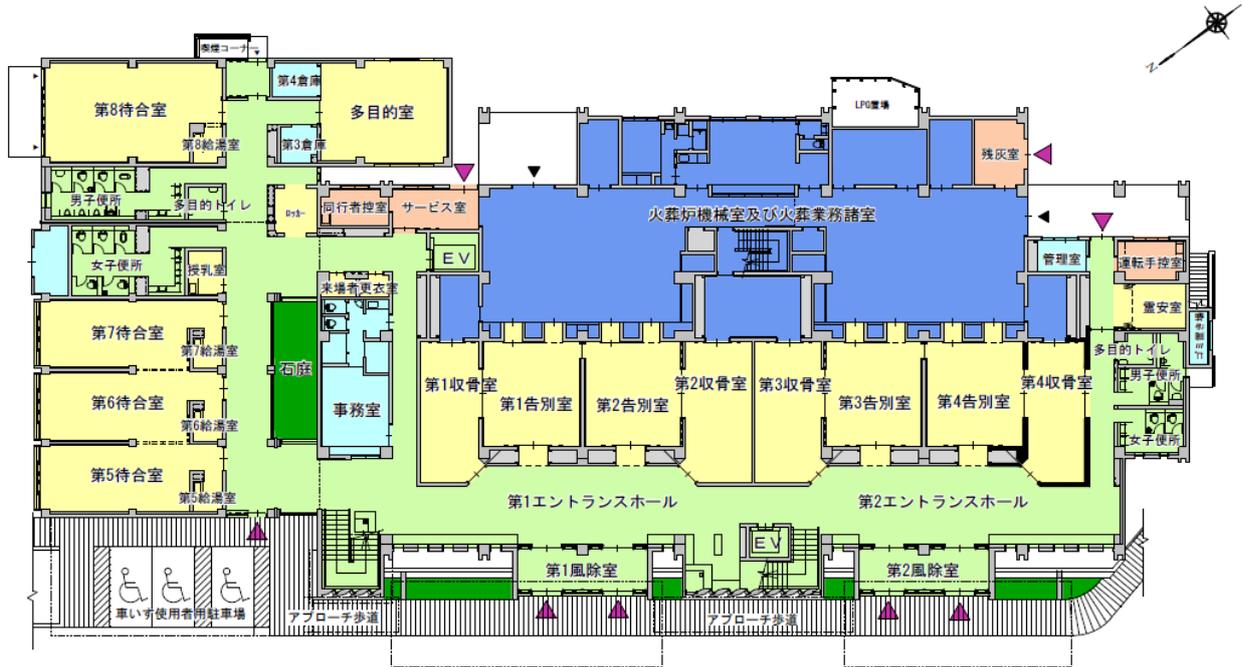
秦野斎場 位置図



秦野斎場 配置図



秦野斎場 1階平面図



秦野斎場 2階平面図

